

★安全安心の学校方向性ニュース(保護者のみなさんへ)

●一人一台タブレットについて

マスコミ等のニュースでご存じの通り、生徒一人一台タブレット配布事業が進んでいます。

コロナでの休校等の際に遠隔授業を行うために、通信機器と通信環境が必要です。教育の機会均等を考え合わせたときに、誰もがそうした機器を使い、平等に学習できる状況にあることが大切です。そこで、国や市などが予算を計上して、一人一台のタブレットを配布することとなりました。

遠隔授業のためだけではなく、学習効果や効率を考えて学校内や家庭においても使用できるように、莫大な予算をかけてこの事業が行われています。

配布といっても、もちろん貸与（貸出）です。今回は貸出する上での大切なことをお話しします。全校集会でもお話しした内容ですが、しっかり確認してください。

1、 機器の扱いは丁寧に（高価な品物です）

- ・パソコンのCPU（頭脳）は衝撃に弱い。カバンに入れて放り投げたり、不安定な高い場所に置かない。

- ・パソコンは水に弱いです。飲み物を飲みながらの扱いなどはないようにしてください。

- ・パソコンは磁石に弱いです。強い磁石などがあるそばで使用していると機器が故障することになります。

※故障した場合は状況によっては弁償の必要が生じます。

2、 機器の使用目的に注意しましょう

- ・あくまでも学習用の端末として貸し出すものです。遊びの内容、まして有害サイトなどへの入り込み、人権問題となるような書き込み等は絶対にしないようにして下さい。

くわしいことは後日、配布のプリントをお読みください。校内では早速使用し始めています。2月になるとお試して家庭にもって帰ってもらい体験使用をしてもらいます。

★西中プライド(生徒のみなさんに望むこと)

またまた新しく自主学習ノートを提出してくれる人が出ました。私のその人へのお礼の文章の形で紹介します。

Cさんへ

自主学習ノートの提出ありがとうございます。

昨年度も自主学習ノートを熱心に頑張っていたのを知っていたので、今年度は

出ないので、どうしたのかなと心配していたのですが、校長先生が変わって
今年は自主学習ノートの取り組み自体がなくなったのか思っていたのですね。
さっそく2冊目のノート、うれしく思います。

私は昔から学校で習ったことがリアルな生活の場で感じられるのをすごく楽し
いと思う人間でした。

たとえば、このノートの中にある岡山県の石油コンビナート。

親戚が香川県・愛媛県にあり、自家用車で瀬戸大橋を渡るのですが、その橋の
岡山側と香川側の両側に広がる石油コンビナートの様子が、教科書で習ったこ
ととあわさって、うれしかったのを思い出しました。

教科書で習ったことを実生活で知ることによって、中身をよりリアルに感じる
ことができます。

いつかそんな学びを深める機会が起きることを信じて、教科書の中でしっかり
学びましょう。

西中 校長 松原

★魔法のじゅうたんについて

「死海」

私が中学生のころに、教科書に興味を引く写真が載っていました。それは中東のある湖の写真で、湖の上で新聞を広げて浮かんでいる大きな男の人の写真でした。塩分濃度が高く、誰もが簡単に浮かぶその湖は「死海」と呼ばれていました。生き物が生活できないほどの塩分の湖ということで、ちょっと怖い名前とインパクトのある写真で私の心に残っていました。当時は20年後にその地を訪れることになるとは夢にも思わず、ただ、学習した記憶だけが残っていました。

死海は、現在のイスラエルとヨルダンの間にある湖です。そのためイスラエル側の領域とヨルダン側の領域があります。

私が訪れたのはヨルダン側でした。湖に足を踏み入れてまずびっくりしました。それは足元の感触です。ぬめっとした泥のような感触でした。実はこの泥、知る人ぞ知る美容品でした。そういう目で見ると、周りにいる人たちの多くは、その泥を両手いっぱいにつけて、全身に塗り込んでいました。いわゆる全身の「泥パック」です。お土産売り場に行くと、死海の泥を使ったパックやせっけんがたくさん売られていました。

次に泳いでみました。私は、死海は簡単に泳げると思い込んでいました。しかし結果は真逆。腰が浮きすぎて大変泳ぎづらかったです。腰が浮くということは顔が下がるということ。死海の水に顔をつけたら、あまりの塩分濃度に目が開けられなくなるほど痛くなることは容易に想像がつきます。水に顔をつけられない状況で、腰が浮かんでくるのですから、泳ぐことは至難の業です。つまり、死海で泳ぐ人の写真の姿が背泳ぎの形になっているのは、そういうことなのでした。死海は浮かびやすいけれど泳ぎにくい湖でした。

死海の水は塩分が強く刺激が強いために、長男は水につかるだけでも皮膚が痛い嫌がり、水泳が好きなのに泳ぎませんでした。次男はまだ赤ちゃんでしたが、私の身体の上に抱き上げて、湖に浮かびました。しかし、陸に戻るときが大変。赤ちゃんの顔は絶対に水につけられないから泳ぐこともできず、歩くにしても、身体は浮かび上がってくるし、足元は泥でぬかるんでいて歩きにくく、陸地に戻れなかったらどうしようと思いながら必死に歩きました。